

令和7年度 福井市中央卸売市場経営戦略の進捗状況について

I 経営戦略について

- ・令和3年3月に策定及び公表済。計画期間は令和3年度～12年度の10年間。
- ・「魅力的な市場」及び「機能的な市場」を2つの柱とし、6つの基本目標を設定。28の取組を行う。
- ・福井市中央卸売市場運営協議会において年度ごとの進捗管理を行う。

II 令和7年度 取組状況等

- ・市場フェスタの開催方法を見直し、「ふくい鮮いちば」を中心とした新たなフェスタを開催した。併せて、市場紹介動画のリニューアルや大人向け市場見学会の開始により、卸売市場の機能・役割の周知を強化した。
- ・首都圏を中心とした観光客に対する福井の食の認知度向上や販路拡大を目的として、福井駅からふくい鮮いちばとトレタスを結ぶシャトルバス「ぐるぐる周遊バス」の本格運行を開始した。
- ・中間検証を行い、これまでの取り組みの進捗状況や課題の検証を実施した。

(1) 魅力的な市場

ア 食の安全安心への対応

〈取組評価〉

A：計画以上の取組を行い大きな成果をあげているもの
 B：計画通りの取組を行い一定の成果を上げているもの
 C：取組が不十分、又は次年度以降の取組となるもの

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R6	R7
○衛生管理の徹底				
1	衛生検査機関等との連携による食品の安全性向上	市保健所による立入検査の実施（随時）	B	B
		県食品衛生協会による食品衛生講習会の実施		
2	市場内衛生環境の保全	放鷹によるドバトの追払い業務及びカラスの追払い業務の実施（年間34回）	B	B
		鳥の巣を発見次第、除去を実施し、被害防止目的の小型箱わな4カ所設置		
○商品の品質管理体制の充実				
3	食品検査の強化	残留農薬検査、細菌検査を実施（年3回18品目、全て異常なし）し、結果を公表	B	B
		食品表示法に基づく立入調査の実施（随時）		
		量目検査の実施（年6回 訂正率：5.9%）		
○危機管理体制の確立				
4	危機事象への対応	管理棟、守衛所において消防訓練を実施	A	A
		業務継続計画（BCP）マニュアルの時点修正		

イ 環境負荷が少ない市場の実現

取組内容	取組状況等	取組評価		
		R6	R7	
○リサイクルの推進				
5	資源物のリサイクルによる廃棄物の削減	場内で発生したゴミの分別の徹底 廃棄物排出量 (R6:1,734t→R7:1,517t)	A	A
○省エネルギーの推進				
6	省エネ設備への切り替えによる電気使用量の削減	LED 照明器具への交換 (卸売棟 3F:4 台、冷蔵庫棟:1 台、バナナ棟:4 台、関連棟 73 台計 14 台 事務所・付属棟:112 台) 電気使用量: R6:557 万 kWh→R7:548 万 kWh	B	B
○社会的な環境活動への貢献				
7	環境活動への参加・支援	期限の近い商品や規格外品など販売するなど、食品ロス削減のための取り組みを推進 福井中央市場青果卸売協同組合青年部による場内の清掃活動 (R7.4)	A	A
8	脱炭素社会を目指す活動への参加	市場内のフォークリフト電動化やトラックのEV化に係る情報収集継続中	C	C

ウ 市民に開かれた市場の実現

取組内容	取組状況等	取組評価		
		R6	R7	
○ふくい鮮いちばの充実				
9	ふくい鮮いちばの店舗の充実	新規5店舗 (R7.3~R7.11)	B	A
10	ふくい鮮いちばの集客力強化	イベントを13回開催 福井駅、ふくい鮮いちば及びトレタス間で無料シャトルバス運行 市広報プロモーション課と連携し、PR動画のネット公開 (福いいネ!ch) 福井市食のPR大使 EXILE 橘ケンチさんや GENERATIONS らが TikTok でふくい鮮いちばを紹介し、認知度を向上 ポスター及びリーフレットをリニューアルし、加賀温泉郷及びあわら温泉の旅館に配付	A	A
○卸売市場の機能・役割の周知				
11	市場見学、市場開放イベントの開催	学校等の市場見学 (24 団体、715 人) 親子市場見学 (3 回、28 組 75 人) 大人の市場見学会 (8 組、40 人)	A	A

		福井中央市場青果卸売協同組合青年部により、小学生が青果の仕入れから販売までを自分たちで行う体験イベントを実施 市場フェスタ開催(2,500人) (R7.10)		
12	メディア、インターネット等を活用した情報発信	「Facebook」「市場HP」等で情報の発信 (R7:41+73=119回) ふくい鮮いちば実行委員会が、新たに石川県でのテレビCMを放映したり、Instagramを活用したフォトコンテストを実施 各種行事について報道機関に情報提供し、TVや新聞等で市場をPR ふくい鮮いちばの紹介記事を、福井新聞D刊及びフリーペーパー2誌に掲載、並びにJR東日本、中日本高速道路及び全国信用金庫連合会のメディアでの掲載	A	A
○地域交流活動への支援				
13	地域ふれあい広場の活用	一般開放の実施:3月~11月(8:30~17:00) (スポーツ利用や親子家族の遊び場、市場見学での昼食や休憩場所、消防訓練場所等として利用)	B	B

(2) 機能的な市場

ア 中央卸売市場の機能維持

取組内容	取組状況等	取組評価		
		R6	R7	
○公共性の担保				
14	市場の公正性・公平性の担保	公認会計士による財務検査の継続 検査対象業者 卸1、仲卸5、計6社 検査実施期間 R7.9~R7.11(講評等含む) 卸売業者への業務検査の実施 検査対象卸売業者 花卉部 検査実施期間 R7.9~R7.11	A	A
○経営改善支援策の充実				
15	経営基盤強化の推進	経営セミナーの開催(「経営陣が知っておくべき戦略と経営数字の基礎」(R7.10))25人参加 財務検査結果に基づく指導	B	B
16	事業連携の推進	一部青果仲卸業者で共同配送を実施。 引き続き共同配送・共同加工等の事業連携事例の調査及び情報収集継続	B	B

○市場運営の効率化				
17	事務手続等の見直し	各事業者が提出する書類の電子化の推進	A	A
○市場の経営戦略の確立				
18	経営戦略の検証及び見直し	中間年度までの取組内容を見直し、改訂版を策定 (R8.3)	B	A
		今年度の進捗状況を報告 (R8.2)		
19	取引ルールについての検証	食料システム法改正や事務負担軽減に伴う条例改正協議のため取引委員会を開催	B	B

イ 物流の効率化、販売力の強化

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R6	R7
○市場ブランドの構築				
20	量販店等への販売力強化	水産物部卸売業者らで作成したポスターを量販店に配布し、店頭に掲示(半夏生鯖)	A	A
		ふくい名水サーモンの養殖施設が ASC 認証を継続して取得し、ブランドイメージを向上		
		青果仲卸による企業向け宅配事業を展開		
21	近海今朝とれ市のブランド化の推進	親子市場見学 (3回、28組75人) 大人の市場見学会 (8組40人) にて一般市民(消費者)が実際のせりを見学	B	B
○産地との連携				
22	産地との連携による集荷力の強化	優良出荷者の表彰 水産物部1社	B	B
23	地場製品のPR	地場製品の情報発信	B	B
		ふくい鮮いちばで「ふくいサーモン祭」をはじめとする各種イベントの開催 地場産品初せり等の情報発信 (梅・スイカ R7.6、梨 R7.8、柿 R7.10、ズワイガニ R7.11 など)		
○実需者ニーズへの対応				
24	加工設備の充実	飲食店のニーズに合わせた加工を実施	B	B

ウ 施設の長寿命化と有効活用

取組内容		取組状況等	取組評価	
			R7	R6
○施設の計画的な改修				
25	設備の改修	給水・消火設備更新工事(第2期)(R8.2完了)	B	B
		配送センター冷凍設備更新工事 (R8.3完了)		

26	建物の長寿命化	水産加工場屋根塗装改修工事 (R7.10 完了)	B	B
		建物不具合箇所の修繕を実施 (随時)		
○既存施設の有効活用				
27	卸売棟や関連商品売場棟の空小間の解消	卸売棟 新規入居 1小間 (0) 関連商品売場棟 新規入居 6小間 (-4)	B	B
28	余裕敷地の有効活用	余裕敷地を H29.3.31 から観光バス駐車場として活用 (利用台数 R6:53 台→R7:70 台)	B	B

Ⅲ まとめ

経営戦略における28の取組内容のうち、令和7年度の評価としては、

A : 11、B : 16、C : 1

となっている (A評価 R6:9→R7:11)。今後も各取組評価が上がるよう引き続き推進を図っていく。